

平成30年度 第97回全国高校サッカー選手権大会北海道大会 開催要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 平成30年度 第97回全国高校サッカー選手権大会北海道大会
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、北海道高等学校体育連盟、札幌テレビ放送
- 4 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会、一般社団法人札幌地区サッカー協会
- 5 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道体育協会、帯広市、帯広市教育委員会、帯広市体育連盟、中札内村、中札内村教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、読売新聞社
- 6 期 日・会 場 平成30年10月13日(土)～15日(月) 3日間 1～3回戦
 - ・帯広の森球技場 帯広市南町南7線56番地7
 - ・中札内交流の杜 河西郡中札内村東4条北1丁目3番地平成30年10月20日(土)～21日(日) 2日間 準決勝、決勝
 - ・札幌厚別公園競技場 札幌市厚別区上野幌3条1丁目2番1号
- 7 参 加 資 格 (1)平成30年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
(2)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3)選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
(4)「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入、または加入の意志のある者。
(5)平成11年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(6)チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8)部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9)① 転校後6カ月未満の者(全道大会日計算)は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。(外国人留学生もこれに準じる)
② 転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記(9)①に準じるものとする。ただし、この規定(9)②の適用は当該年度内に限るものとする。
(10)選手は、在籍する学校長及び所属地区サッカー協会長の承認を必要とする。
(11)各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とすること。
(選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。)
(12)外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
(13)参加資格の特例
① 本条(2)、(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、下記「大会参加資格の別途に定める規定」に従い大会参加を認める。

- ② 本条(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規定】

- 1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1)大会参加資格を認める条件
 - ① (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2)大会参加に際し守るべき条件
 - ① 全国高等学校サッカー選手権大会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保健に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 8 参加チーム数 各地区協会より参加できるチーム数は次による。
- (1) 参加チームが20チーム未満は、1チームとする。
(参加チームが1チームしかない場合、隣接する他地区の予選に参加する。)
 - (2) 参加チームが20チーム以上で30チーム未満は、2チームとする。
 - (3) 参加チームが30チーム以上で40チーム未満は、3チームとする。
 - (4) 参加チームが40チーム以上で50チーム未満は、4チームとする。
 - (5) 参加チームが50チーム以上は、5チームとする。
 - (6) 今年度全国高校総体代表校2チーム
 - (7) 開催地区代表校2チーム(札幌地区1、十勝地区1)
 - (8) 今年度高円宮杯JFAU-18サッカーリーグ2018プレミアリーグまたは高円宮杯JFAU-18サッカーリーグ2018プリンスリーグ北海道に参加している全チーム
- 9 競技規則
- (1) 2018年(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
 - (2) 大会参加申込みをした最大25名のうち、各試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の内から、5名までの交代が認められる。
 - (3) 交代要員9名とスタッフ5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。
- 10 競技方法
- (1) トーナメント方式により優勝以下第3位まで決定する。
 - (2) 1回戦から3回戦までの試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、原則として10分間とする。勝敗の決しない時は、ペナルティキック方式により次回戦に進出するチームを決定する。
 - (3) 準決勝、決勝戦の試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として15分間とする。勝敗が決しない場合は20分(10分ハーフ)の延長戦を行う。なお決しない時は、ペナルティキック方式により次回戦に進出するチームおよび優勝チームを決定する。

- 11 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- 12 参 加 料 大会参加料 21,600円(消費税込)
- 13 参 加 申 込 (1)参加申込書に登録できる人員は、引率教員1名、監督1名、選手25名、マネージャー2名とする。
(2)申込締切期日 平成30年9月11日(火)17時必着
(3)参加申込書の位置(ポジション)については、GK・DF・MF・FWの用語を使って記入すること。
(4)参加チームは、所定の申込用紙により、所属の地区協会を經由して下記(A)、(B)へE-mailで送付すること。
(5)参加チームは、参加料および不帯同審判料を下記(B)の口座へ納入すること。
(6)親権者同意書は、(A)に郵送すること。
- (A) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41
北海道フットボールセンター内
TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101
●参加申込書 ●プライバシーポリシー同意書 ●親権者同意書
●地区大会成績書 ●チームプロフィール ●チーム集合写真
- (B) (一社)十勝地区サッカー協会
〒080-0018 帯広市西8条南18丁目3-3 大西ビル内
E-mail:tfa@tokachifa.com
TEL/FAX :0155-21-6626
銀行名 帯広信用金庫
支店名 中央支店
口座番号 普)1213914
口座名 社)十勝地区サッカー協会 会長 金澤 耿(カナザワ コウ)
●参加申込書 ●大会参加料・審判不帯同料
- 14 組 合 わ せ (公財)北海道サッカー協会・第2種委員会・高体連専門委員会が公開で行う。なお、参加チームで抽選会出席可能なチームは参加することができる。
- (1)日時 平成30年9月12日(水)17:30～
(2)場所 札幌サンプラザ
(3)全国高校総体代表校2校、高円宮杯JFAU-18サッカーリーグ2018プリンスリーグ北海道上位チームはシードする。
- 15 帯 同 審 判 (1)出場チームは、(公財)日本サッカー協会認定審判員(2級以上)を帯同させること。監督・コーチの兼務は不可とする。
(2)帯同審判員は、大会期間中その業務にあたるものとする。
(3)帯同できない時は、16,200円(消費税込)を(一社)十勝地区サッカー協会に大会参加料と同時に納入すること。
- 16 選 手 変 更 登録選手の変更は3名以内とし変更届用紙に必要事項を記載し10月9日(火)17時必着で、所属地区協会を通してメールで(公財)北海道サッカー協会へ提出すること。
- 17 ユニフォーム (1)ユニフォームは正副2色(シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK用共)を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に記載されたものを原則とする。
(2)選手番号については、1番～25番までとする。
(3)チームのユニフォーム(ゴールキーパーを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

- (4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
- (5) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み以後の変更は認めない。
- (6) ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
- (7) ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- (8) 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
- (9) その他については「2018ユニフォーム規程」を遵守すること。

- 18 懲 罰
- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
 - (2) 規律委員会の委員長は専門委員長とし、委員については委員長が決定する。
 - (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
 - (5) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

- 19 監督主将会議
- (1) 日時 平成30年10月12日(金)15:00
 - (2) 場所 帯広市総合体育館
住所 帯広市大通北1丁目 電話 0155-22-7828

- 20 開 会 式
- (1) 日時 平成30年10月12日(金)16:00
 - (2) 場所 帯広市総合体育館
住所 帯広市大通北1丁目 電話 0155-22-7828

- 21 閉 会 式
- (1) 日時 平成30年10月21日(日)決勝戦終了後
 - (2) 場所 札幌厚別公園競技場

- 22 表 彰
- (1) 優勝チームには賞状、優勝旗、優勝杯、楯(協会およびSTV)、記念品、協賛社杯を、準優勝チームには賞状、楯、記念品を、第3位(2チーム)には賞状、楯を授与する。
 - (2) 表彰式は決勝戦終了後に行う。ただし、3位の表彰式は準決勝終了後に行う。

- 23 そ の 他
- (1) 各試合の前に代表者ミーティングを実施する。
 - ① 各試合競技開始70分前に所定の場所で行う。
 - ② メンバー提出用紙を出場選手の選手証と共に提出すること。(ユニフォームカラーは未記入のこと)
 - ③ 両チームのユニフォームを決定する。(ユニフォームを正副一式持参すること)
 - ④ 諸注意事項の説明等を行う。
 - (2) 選手資格に関して、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。
 - (3) 準決勝進出チームは、校旗(部旗)・校歌を録音したものを持参すること。
 - (4) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実施委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
 - (5) 優勝チームには「第97回全国高校サッカー選手権大会」への参加を義務付ける。